



LIONS NEWS

ライオンズクラブ国際協会330-A地区ニュース

令和元年6月 第6号



ガバナーチームを支えた副幹事団のチームワーク



2019年5月7日 13時～14時30分 於：キャビネット事務局

参加メンバー：キャビネット副幹事 L北岡 知子 L林 敦美 L後藤 裕文 L西山 和範 L田邊 浩嗣

ファシリテーター：MC 委員会委員長 L吉岡 晋

写真撮影・編集構成：MC 委員会副委員長 L赤尾 嘉晃

① 一番印象に残った（インパクトのあった）ことは、アクティビティ、セミナー、クラブ・ゾーン・リジョン、年次大会等です。

・西山 L さまざまのチャリティコンサートでした。開催にたどり着くまで様々な苦労があった。先方と LC でコンサートができる時期、やりたい時期、場所が相違っていて調整が難航した。チケット販売方法と座席の決め方など討議している間に時間が過ぎて行った。

・田辺 L やはり、さまざまコンサートですね。時間がなく、チケットを手にしたのは1週間前。そんな時間のない中でどう動いたら良いかを真剣に考えた。

・後藤 L さまざまのコンサートです。幹事団で協力しコンサートを実現、チケットを全て販売できたことが素晴らしいと思う。

・林 L 14 R で各100枚販売すれば良かったが結構なストレスだった。皆で頑張れたことが楽しい思い出です。

・北岡 L 準備の期間が短かった。詳細決定まで時間がかかり、具体的に動いたのが1月以降だった。キャビネット会議後の2R 諮問委員会でコンサート開催参加について賛否両論があり、活発な協議が初めて行われ、リジョンがまとまったように思った。

・糖尿病セミナー、330 複合地区 GAT セミナー、都市直下型地震講習会などもインパクトがあった。副幹事は、諮問委員会などでセミナーの内容告知、参加促進などを素早く正確に伝えることの難しさを痛感しました。

・吉岡委員長 さまざまに決めた理由は何ですか。

・ガバナー（以降 G と表記）が呼びたかった、好きだった。ミュージビターの平原あやさんも候補だった。「風に立つライオン基金」を支援しているところをノンライオン（一般）に広めることもアクティビティの目的

の一つになっていると思います。風に立つライオン基金とライオンズクラブの活動（災害支援等）が結びつくように開催趣旨を考え、さだ企画の山口社長に納得してもらうのに約2か月かかった。10月ころに開催することが決定しました。会場探しをしたところ、3月11日だけ取れることが分かった。その日は年間で予定でキャビネット会議だったが、日程を変更してコンサートを開くことが出来たことは強いリーダーシップのおかげです。

・吉岡委員長 今後につなげるためにも、先方へ提出した企画書を見てみたい。

・先方にも理事会があり、そちらでライオンズクラブのアクティビティの趣旨（被災地支援）の賛同を得て初めて実現できるコンサートだった。裏話ですが11月、12月にチケットを販売することは難しいのでファッククラブを通しての案もあったが、さまざまの行っている支援活動とコンサートをファンではなく、初めての人を知ってもらいたい、聞いてもらいたいとの思いから、まずはメンバーへ販売した。その後ノンライオンメンバーが誘うという流れを理想とし実施した。



②11月24日「みんなダイヤモンド」運営の舞台裏は、どのようでしたか



吉岡委員長 参加者のインタビュも行った。地区ニュース5号のセンターページ感想、まとめ①②をご覧ください。

- ・単発のアクティビティでーから作り上げた。港区スポーツセンターとの競技のための持ち込み備品の調整が難しかった。また、駐車場の確保が出来なかった。
- ・プロジェクトチームは大変だったと思う。当日になってこのアクティビティの面白さを知ることが出来た。総じて良い評価だったが、意見として「港区スポーツセンターでパラポーツのイベントがあることを広報すべき」といわれた。そこまで手が回らなかった。
- ・LCメンバー内部で盛り上がり楽しかったが、障がい者、健常者の交流を深めるための事業である点を考える、一般の方々へ参加を呼び掛ける情報発信・外部への告知が重要だったと思う。
- ・天気が良かったことが一番だと思う。プロジェクト特別委員会の皆さんがものすごく頑張っていたと思います。受付でLCメンバーが障がい者との「ふれあい」を通じてたくさん元気をもたらしい、新しい発見(何を手伝えれば良いかがわかってきた)がありました。
- ・参加者が競技を楽しんでいる笑顔を見ていたのが楽しかったことか思いません。
- ・バタバタしてしまい、一緒にダイア

モンドと一緒に踊れなかった。

毎週の定例会で集客(1500人)が話し合われ、日程が近づいてくると事前登録の人数が増えていき、盛り上がりつつあるのを感じました。手首につけるテープの色や選手、保護者など分ける事前のルールを把握できていない点は改善点だったと思う。運営面(受付、誘導、競技案内タイムテーブル把握、緊急時対応)でのマニュアル化、全体を見渡せる総合案内・コンシェルジュ的な人が必要だったと思う。

吉岡委員長 新規アクティビティを作り上げたことについて、計画、実行などで良かったこと悪かったことなど整理しておいた方が今後に役立つと思われま。

参加した障がい者取材して、競技内容の事前告知があったら良かったと思う。卓球バレーは日本1位2位のチームが参加していたことや、スポーツ吹矢は体験がメインだったことなど(試合をすと思うていた方が多くいた)の情報を発信していれば一歩踏み込んだ交流ができたと思われ。交通手段、バスの時間も工夫があれば、希望者が多くあつ

③1年間副幹事として頑張った、これだけは自慢しておきたいことは



西山L 定例会と担当委員会の8割は出席した。全体の流れを把握するため。



たミニコンサートにもっと多くが参加できたかもしれない。今回のダイヤモンドに参加した方は次回があると考えている。また、重要なことはアクティビティの目的をきちんと事前に周知するべき(体験?試合?交流?)。だと思。

やれば良いですね。1年以上の間が必要。西山Lは、今回のアクティビティ実現のため一昨年の秋から草案を練っていた。

今回行った、ポッチャ、スポーツ吹矢卓球バレーの競技ルール・道具の事前勉強が必要だと思う。スタッフがパラポーツを良く知ることの準備が欠けていたと思う。

オリンピックではないが、4年に1回くらいのスパンで開催という方法はあると思います。実は、みんなダイヤモンドの告知として、銀座などでパレードをする案もあった。

出席する場合には、キャビネット会議の内容を復習して、皆に伝えられるようにした。LCIF、法人化などライオンズの進んでいる方向性がよく理解できた1年だった。自分の成長になると信じて1年間仕事もそこのけで一生懸命やりました。あきらめずに最後までやり抜いた事です。仲良く、仲間が増えたこと。

④地区ニュースについての感想、改善点を挙げていただけますでしょうか

西山L 面白いと思って読んでいる。過去のニュースを全て取ってある。自クラブの記事を新人に見せるようにしている。

田辺L PDF版はありますか?

「ハイ、本の様に印刷出力ができるようになっていきます。スマホの時代なのでアプリがあれば良いと思います。クラブの例会で地区ニュースの記事紹介をタブレット・プロジェクトなどで行ってもいいと感じている。肌で感じ取るくらいの頻度で繰り返し取り上げても良いと考えている。サクッとみられる紙・冊子版も必要と思う。現状はクラブ内で発行の告知が行われていない。少人数のクラブは情報発信をして

ガバナー諮問に答えられるように、副幹事・副会計が一致団結してできる限りがんばったこと。と運営したRC、ZC、委員会メンバーと仲良く一緒に頑張れたこと。自分自身も頑張れたところがあつたと反省しきりです。副幹事のチームワークの良さはもちろんですが、各自の特長・チカラが化学反応して安心感と心強さを感じています。

いない。掲載されるとメンバーが良く見ることが多くモチベーションのアップにもなっている。つぶれそうなクラブも取材して欲しい。令和を表紙にしたのは良いアイデアだと思。

サイズも大きく読みやすく写真の掲載も多くインパクトされやすくなりました。アクティビティ記事はHPと同じのものでした。インタビューや座談会の特集記事が楽しみです。

地区ニュースは情報が身近で凄く見入ります。自クラブが出ていますと特に嬉しく、LCメンバー皆に対して仲間意識が強くなるような思いがしました。イラスト、漫画など絵で見るとイオンズやセミナーなどの事前告知を詳しく掲載して参加登録など各メンバーと双方向で共有できるようなページがあれば嬉しく思います。法人化に関する記事をはじめ、充実した内容であった。

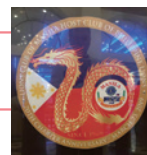
ニュースの性質上、さらっと読めるものが良いと思うので、ページ数が増加する場合には、充実し過ぎての情報が多くなるらない方が良く思う。吉岡委員長「地区ニュースが会員増強の各場面で使ってもらえれば良いと思う」

今日は貴重なコメントありがとうございました。



マニラ HLC 70 周年記念式典出席

3/22 ~ 24



1R1Z 東京 LC



東京ライオンズのスポンサー、日本 LC の生みの親でもあるマニラホストライオンズクラブの 70 周年記念式典に出席致しました。前夜祭はマニラ湾に面した名門ヨットクラブでマニラ LC と姉妹提携している、東京、台北、マレーシア等 7 クラブの歓迎晩餐会です。1952 年、マニラ HLC がスポンサーとなり東京 LC が結成され、今では 3010 のクラブと 115,000 人のメンバーに発展出来たことの御礼と、姉妹提携 50 年の友情に感謝を

申し上げました。終戦後極めて対日感情の悪い中、チャーターナイトでスピーチされたゴンザレス国際理事は、「過去をして過去たらしめよ」(Let bygones be bygones) という寛容の心に満ちた言葉を我々は忘れたいとスピーチしました。歌ありダンスありで、夜中までフィリピンの皆様の明るく楽しい前夜祭でした。翌日の 70 周年式典はマニラホテルで開催され、マニラ各界の名士や、国際協会役員(日

本からは中村前国際理事がご出席)や姉妹提携をしている我々東京 LC を始め多くのクラブが参加し大歓迎を受けました。趣向を凝らした入場セレモニーや舞台、アクティビティの放映、なが〜いスピーチもあり、華やかで明るく楽しい親しみのある式典でした。マニラ LC と姉妹提携は 50 年、LCIF 資金を利用した共同アクティビティ(貧困家庭児童向けデイケアセンター建設)など長い友好と友情を継続しています。



今期東京クラブでは 昨年 6 月の台北 HLCC65 周年に始まり、8 月はミャンマーで初めて結成されたヤンゴン LC との姉妹提携、2 月にはソウル HLC の 65 周年など、各国で最初に 設立されたクラブと姉妹提携をして国際交流を継続しています。

東京ライオンズクラブ

理事・会員・出席委員長 L 追原 篤男

熊本大地震 災害支援募金活動

4/15

5R2Z 東京江戸川南 LC

地下鉄東西線 西葛西駅前ロータリーにて熊本大地震の支援募金活動を行いました。お忙しい中 今井ガバナー・伊賀ガバナーエレクトや多くの仲間達に応援に来ていただきました。

今回も各クラブのメンバー、東京 23FC のサッカーチームの方々と力を合わせて募金活動を行い、皆様方の温かい気持ち



ちのおかげ様で、394,542 円の募金をお預かり致しました。翌日 4 月 16 日(火)に全額を荒尾 LC に振込させていた



いただきました。3 年が経ちましたが一刻も早く被災地の皆様が平穏な生活に戻ることを強く願うばかりです。御協力いただきましてありがとうございました。

東京江戸川南 LC 会長 L 久世敏雅



● 奉仕活動の原点であるクラブアクティビティをご紹介致します。魅力あるこれらのクラブアクティビティは我々ライオンズメンバーの誇りです。

波照間島と石垣島でビーチ清掃 4/19～22

10R2Z 東京三軒茶屋 LC

4月19日～22日 旅行例会で訪れた沖縄県の波照間島ニシ浜と石垣島 小浜にて参加者8名でビーチ清掃を行いました。空き缶やペットボトルが投げ捨てられていたほか、海藻と絡み合っ

た。海岸の美化、海洋生物の保護につながる意義深いアクティビティができました。

諸経費 ¥2,120

東京三軒茶屋 LC 幹事 L 藤村貞夫



献血奉仕活動！！ 4/20

5R2Z 東京江戸川南 LC



毎年行われております「一之江駅 西口春まつり」内で 献血奉仕活動を行いました。お天気も良い土曜日で 大勢の方がいらっしゃっており 小さなお子様から大人まで笑顔がいっぱいでした。

駅前ということもあり お陰様で今回も多くの方々に献血をしていただきました。みなさま ありがとうございます。

東京江戸川南 LC 会長 L 久世敏雅



昭島市内清掃奉仕活動

4/21

13R1Z 東京昭島 LC



東京昭島ライオンズクラブは2019年4月21日(日)にJR青梅線東中神駅から昭島駅まで、約2.4kmの区間の沿道の清掃活動を実施しました。

当日は少し汗ばむくらいの陽気のもと、約2時間かけてタバコの吸殻や空き缶など道に捨てられたゴミを回収しました。

清掃活動中には多くの方に「ご苦労様です」とお声掛けいただき励みになりました。

東京昭島ライオンズクラブは半年に一度のペースで市内清掃活動を行っており、今後も

継続して行ってまいります。

東京昭島ライオンズクラブ

広報委員長 L 藤村陽介



献血奉仕当番

4/30

12R2Z 東京町田クレイン LC



平成最後の日、2019年4月30日(火)に町田献血ルームおよび町田駅周辺にて、メンバー12名で献血のご協力の呼びかけを行いました。沢山の方々のご協力をいただくことが出来ました。今回が本年度最後の献血奉仕当番となりましたが、今後も継続事業として取り組んでまいります。

東京町田クレインライオンズクラブ

幹事 L 佐藤英樹



“南の国へ” 時計寄贈

5/7

12R2Z 東京町田クレイン LC

南半球の国パプアニューギニア。結成 10 周年記念事業の時にこの国のチンプ州コゲ村に小学校を建設させていただき、毎年文具やスポーツ用具などを届けています。15 年が経ち、今では公立小学校なのに“東京町田クレインライオンズクラブ小学校”に改名されました。昨年、25 周年記念事業の一つに当小

学校に屋外用時計の寄贈があり、ようやく今回実現しました。村では唯一の屋外時計という事で大変喜ばれました。先生達は雨風にさらされて心配そうでした。

取材：東京町田クレインライオンズクラブ
PNG 特別委員会副委員長 L 志村容一



1R 合同 盲導犬育成街頭募金

5/11

1R 合同

5月11日(土)午前11時より、数寄屋橋交差点にて、第1Rの合同アクティビティである盲導犬育成街頭募金活動が行われました。当日は天候にも恵まれ、参加メンバー全員が一丸となって、道行く人々に盲導犬育成支援活動の大切さを訴え、盲導犬育成募金へのご協力をお願いしました。PR犬のエイル(黒色)とダーウィン(白色)も、たくさんの人達と触れ合って盲導犬の普及活動に励んでくれました。盲導犬育成にかかる費用の90%以上は募金

や寄付によって支えられており、盲導犬の育成を拡充していくためには、より多くの方々に盲導犬や視覚障がいへの理解を深めていただくことが必要となります。今回のような街頭募金活動は、募金を募ることだけでなく、盲導犬育成に対する社会的な理解や支援を広げるという重要な意義を有する奉仕活動であり、



これからも継続してこの活動に尽力していきたいと思いを。

東京ライオンズクラブ 幹事 L 松葉 健



多摩川クリーン作戦 5/12

13R1Z 東京昭島 LC

2019年5月12日(日)に東京昭島LCは「昭島市 多摩川クリーン作戦」に参加し、昭島市内の多摩川河川敷を清掃しました。空き缶やタバコの吸い殻の他に魚釣りやバーベキューで出されたゴミを回収し手配したゴミ収集車にて分別回収しました。

綺麗な街昭島を維持していきたいですね。

東京昭島ライオンズクラブ

広報委員長 L 藤村陽介



調布駅前献血会を実施 ご協力いただきました皆様ありがとうございました！ 5/14

12R1Z 東京調布 LC



5月14日 雨天の中でしたが、調布駅前献血会を実施致しました。

輸血用の血液が不足しているということで、目標100名を達成すべく、東京調布ライオンズクラブ28名のメンバーで手分けし、ティッシュを配りながらの声かけ、メガホンでの呼びかけ、看板を手にアナウンスするなど1人でも多くの方にお願ひしました。数週間前から近隣へのお願いやポスター貼りを行い、当日は受付作業の手伝いや献血者への

粗品(ドーナツ詰め合わせ)贈呈なども行ったほか、体調の良いメンバー自らも献血に協力しました。

結果120名の方々にご協力を頂きました。輸血を必要とする方の救いになれたことと思います。ご協力いただきました皆様に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

東京調布ライオンズクラブ 会長 L 鍛邦雄



2R 合同アクティビティ 「ツリークライミング体験会」 日比谷公園 5/19

2R 合同



晴天に恵まれた5月19日(日)、都心にある日比谷公園にて午前10時より2R合同アクティビティ「ツリークライミング体験会」が開催されました。日比谷公園において今年で5回目の開催となります。体験会は参加希望者約20名×4回(約80名)が「ツリークライミングジャパン」のインストラクター



の指導の下、用具を装着、大木にかけたロープを使用して「ツリークライミング」の体験をしました。このアクティビティは2リジョン(肥田野 RC)各クラブ合同により青少年・レオ・ライオンズクエスト委員会の協力を得て、青少年健全育成の目的で毎年行われています。小学生が主体の各参加者は、都会では普段体験できないクライミングをそれぞれのレベルにおいて楽しみました。

2R リジョンチェアパーソン：L 肥田野晴三
2R1Z ゾーンチェアパーソン：L 雨宮 弘枝
2R2Z ゾーンチェアパーソン：L 飯尾 雄一
2R3Z ゾーンチェアパーソン：L 坂井 純一

(レポート：2R3Z 東京みやこ LC
幹事 L 佐原幸雄)



宮城県名取市 「閑上地区まちびらき」 支援 5/26

四クラブ合同

東日本大震災復興支援活動として宮城県名取市「閑上地区まちびらき」支援
東京蒼天ライオンズクラブ・東京八王子陵東ライオンズクラブ・東京尾張町ライオンズクラブ・東京新世紀ライオンズクラブ、四クラブ合同アクティビティ



ゆりあげ港朝市協同組合の桜井理事長様より以下のような趣旨で「閑上地区まちびらき」が開催をされる旨の連絡を頂き、毎年、閑上を応援している四クラブが深い

感銘を受け、支援を行いました。

- ① これまで支援を頂いた全ての方に感謝したい。
- ② 新しいまちや復興した姿を見て頂きたい。
- ③ 子供たちが輝くまちびらきをしたい。
- ④ 震災で犠牲になられた方々を鎮魂するとともに、未来に向かうスタートラインにしたい。

当日は、好天に恵まれ多くの皆様に参加頂き爽り多き1日となりました。



東京蒼天ライオンズクラブ

ZC L 川島 富美子



8R1Z 東京豊島西 LC



東京豊島西 LC は今期結成 50 周年を迎え、3 月 28 日にホテルメトロポリタンにて記念式典を挙行了しました。当日はご多忙の中、高野区長をはじめ地域を代表するご来賓の皆様、今井文彦 330-A 地区ガバナー並びにキャビネット役員の皆様、そして姉妹提携クラブの秋田中央 LC・一関中央 LC、8 リジョン・1 ゾーンの友好クラブの大勢の皆様のご臨席を賜り、誠に有り難く厚く御礼申し上げます。当クラブは、1969 年 3 月 17 日に東京豊島 LC のスポンサーにより、日本で 1385 番目に誕生し、結成以来熱心に活動されてこられた多くの先達から受け継いだ意義のある



アクティビティを行って参りました。主なアクティビティは 3 つで、車いすバスケットボール並びに補助犬（盲導犬・介助犬・聴導犬）の啓蒙活動と献血奉仕活動です。「東京都車いすバスケットボール選手権大

会」の支援は、第 1 回大会より 46 年間継続し、10 年前から東京都車いすバスケットボール連盟の選手・OB の方々にご協力を頂き、子ども達の情操教育の一環として豊島区の小・中学生を対象に「車椅子バスケットボール体験学習」も開催しています。同様に小学生を対象に「補助犬との交流学習」の開催や豊島区の「ふくし健康まつり」に 16 年間参加して、PR や募金活動も行っています。しかしながら、経験者の高齢化と人材育成、会員増強など今後のクラブ運営を熟慮した結果、苦渋の決断となりましたが当クラブは解散し、来期より東京巣鴨 LC と合併することに相成りました。スポンサークラブの東京豊島 LC 並びにブラザークラブの東京豊新 LC の皆様にはご心配とご迷惑をお掛けすることになり、心苦しく誠に申し訳ございません。今後は 8 リジョン・2 ゾーンの東京巣鴨 LC の一員となり、8 リジョンの交流と今まで以上に地域貢献に尽力して参りますので、何卒ご理



解賜りますようお願い申し上げます。最後になりますが、8 リジョン・1 ゾーンの友好クラブの皆様の長きに渡るご厚情に深く感謝を申し上げますと共に、引き続き宜しくお願い申し上げます。

東京豊島西ライオンズクラブ

会長 L 浅野有司

6R1Z 東京浅草 LC・東京文化 LC

4月8日（月）の18時より浅草ビューホテルにて、東京浅草 LC チャーターナイト 60 周年記念式典及び東京文化 LC 認証状伝達式が開催された。

冒頭、熊澤南水 L による東京浅草 LC60 年の歩みが語られ、熊澤永行会長による開会のゴングで 式典は幕を開けた。記念事業の発表のあとに東京文化 LC の認証状伝達式が行



われ、チャーター入場、メンバー紹介、チャーターの授与及び茅野雅弘初代会長による謝辞が述べられた。認証状伝達式が終了後、ご来賓に祝辞をいただき感謝状の拝受が執り行われた後に第一部は閉会のゴングで幕を閉じた。

第二部祝宴は 333-C 地区後藤隆一元国際理事と中野了元地区ガバナーの祝辞の後に乾杯となり、祝宴中は浅草の芸妓さんによる踊りなども披露され、華やかなムードで進められた。友好クラブからのお祝いメッセージも披露され、ライオンズローアののちに井桁 L の閉宴の言葉、三本締め、浅草ライオンズクラブの唄ですべて終了となった。

マーケティング・コミュニケーション委員会
副委員長 L 大類雅之



5周年チャーターナイト 5/13

5R2Z 東京江戸川なでしこ LC



令和になってからの 5 周年チャーターナイト。

多くの方々よりこんなにも温かく支えられていることを改めて実感させて頂きました。鈴木元ガバナー期に誕生し、翌年親クラブであります東京フロンティア LC の解散・・・ガイディングライオンも・・・せっかく誕生したのだから！と右も左もわからない中、



私たちは奮闘してまいりました！そんな私たちをそっとさせてくれる 5R2Z の先輩クラブのメンバー！アクティビティをやるなら手伝うよ！もちろん参加するよ！と男手がないのを知ってやってくれるメンバー！ほんとに感謝です！女性だけだから難しい点もあれば女性だけだからこそ 1 つにまとまることもいっぱいあります。 これからも、「なでし



こらしい」アクティビティを展開していきますのでよろしく願いいたします。

東京江戸川なでしこ LC 幹事 L 早川 ひとみ

結成 25 周年記念式典

5/21

7R2Z 東京けやき LC



5月21日池袋ホテルメトロポリタンに於いて、東京けやき LC は結成 25 周年記念式典・祝宴を開催致しました。当日は今年一番の大雨と強風の荒天ではありましたが、開始時間に合わせるように、雨も止み多くのご来場者をお迎えする事ができました。天空の雲の流れに感謝いたします。日本女子フェンシングあずさ会の支援選手狩野愛巳さん、狩野央梨沙さん姉妹の演武で記念式典は始まり、けやき LC アクティビティ映像の上映に続く関会長の挨拶では、スポンサークラブを始めとします諸先輩のメンバーと地域の皆様に「25 年間のありがとう」の感謝の意が伝えられました。記念アクティビティとして板橋区に安心・安全青色パトロールカーの贈呈、板橋区手をつなぐ親の会、社会福祉法人マハナヤ学園、日本女子フェンシングあずさ会にそれぞれ金一封を贈呈させて頂きました。式典のなか、暖かく優しい励ましの祝辞を頂きました、山浦 PID と今井ガバナーには改めて感謝い



たします。式典の最後に関会長の打つ閉会ゴングが鳴り響き、予定より少し長引いた記念式典は終了致しました。続いて休憩を挟み行われた祝宴で宴を盛り上げ、応援メッセージの祝辞を頂いた石井元ガバナーと村木元ガバナー、会場全体の一体感を演出していただきました乾杯の宇田川元ガバナーありがとうございました。その後、お食事・ご歓談と続き途中のアトラクションではミニスカポリスに司会の私が手錠をかけられ、諸見里 L が逮捕、村木元ガバナーも逮捕、最後に今井ガバナーも逮捕され、3 名は壇上に上がり、関会長との記念撮影となりましたが、記念撮影の画像を見ましたところ逮捕者全員の普段見られない笑顔が印象的で特にミニスカポリスの腰に手を回す諸見里 L の本当の罪状を探りたくなりました、心配したトラブルも無くアトラクションは終了し、木下 RC、山口 ZC、小川 ZC、柴田 ZC の先導でライオンズ・ローア、中尾実行委員長の閉宴挨拶、「また会う日まで」の大円団で東京けやき LC の結成 25 周年記念式典・祝宴はお蔭様をもちまして滞りなく終了致しました。

25 周年の区切りを迎え、けやき LC は地域と共に歩んできたアクティビティと創始の精神に基づいた伝統の継承に併せ、求められる奉仕活動を再構築する必要を感じておりま



力をしてアクティビティの規模を大きくする未来を描いていけたらと強く想います。(以上は今期テールツイスターの勝手な思いかもしれませんが、メンバーの皆さんごめんなさい) また、アクティビティ等映像では、長時間の協力取材と、当クラブ CN の想いを動画にした、赤尾 L に御礼を申し上げます。最後に、ご列席いただきました皆様のご健勝と、なお一層のご発展を祈念いたすと共に、皆様のご厚情に感謝の気持ちを表します。

テール・ツイスター L 吉岡晋



4R3Z 東京法政 LC

5月24日東京プリンスホテルに於いて、東京法政 LC 結成 15 周年記念式典、祝宴を開催致しました。

大学関係の方々、今井ガバナー、元国際理事山浦晟暉元ガバナーにご挨拶頂き、法政大学、法政大学体育会空手部、重量挙げ部、NPO 法人沖縄空手道剛柔流東魁塾に金一封を贈呈。NPO 法人沖縄空手道剛柔流東魁塾師範、高津利明様、東京尾張町ライオンズクラブ、山下時博 L に感謝状の贈呈をさせて頂き、靖國神社管理課長、楠林豪様と法政大学体育会陸上部より感謝状を頂きました。

続いて第二部祝宴では元地区ガバナー石井征二 L、元地区ガバナー塩月藤太郎 L よりご挨拶頂き、樽酒で元地区ガバナー河合悦子 L の乾杯の御発声のもと祝宴が始まり、法政ライオンズクラブメインアクティビティであり



ます空手道大会の関連で空手の型の演武。そしてカエル合唱団の方々の素晴らしい歌声、続いて川中美幸さんのお祝いメッセージの後に国歌斉唱でリードボーカルをして頂いた美貴じゅん子さんの歌謡ショー、そして法政大学応援団総勢 50 名による迫力満点のステージ、4R3Z 恒例の大学校歌及びエールの交換が行われ 15 周年の記念式典をおおいに盛り上げて頂きました。





年次大会





第65回



Photo Gallery



ガバナーチームインタビュー 2018-19年の総括と来期の展望について



2019年5月21日 於：メトロポリタンホテル

参加メンバー：今井文彦ガバナー、伊賀保夫ガバナーエレクト、進藤義夫第2副地区ガバナー

ファシリテーター：MC 委員会委員長 L 吉岡 晋

写真撮影：MC 委員会副委員長 L 赤尾 嘉晃、オブザーバー L 新井 大介 編集構成：MC 委員会副委員長 L 桂 太郎

委員長

今期は3年間に渡るガバナーで構成されるガバナーチームが上手に機能していたと思います。特にみんなダイアモンドではガバナーチームとしての機能が非常に見られたように思います。成功の秘訣は何でしょうか。

今井G

そうですね。顔の広い進藤さんには受付をお願いし、障がい者のことも非常に詳しい伊賀さんにはそちらの対応をやってもらいました。自然とそういう流れになりました。

L 伊賀

秘訣はガバナーの姿勢ですね。常に私たちに情報を共有して下さったから非常にやりやすかったです。

L 進藤

加えて、今井ガバナーが若い世代を育てようという気持ちが強かったです。イジリも強かったです(笑)。

今井G

自分が第2第1副地区ガバナーの時に各クラブの状況や意見など聞きたいことが沢山ありました。第2、第1に聞いてもらうことが非常に重要です。自分の代だけで実現することは非常に困難だからです。

L 進藤

15、16番目の副幹事のような役割分担もあったと思う。そのぐらいしっかりチームに入れていただきました。

委員長

チームとしての成果も非常に高かったように思います。

今井G

伊賀さんの能力もすごいな、進藤さんの能力もすごいなというところがありました。そして、何よりお伝えしたいのは、一年間 本当にありがとうございましたということ。特に事前懇談会では会長幹事にお伝えしたことも共有していただけたし、各クラブからの要望も一年間だけで改善できることは限りがあるので、次の世代のガバナーと共有することは本当に必要なことだと改めて思いました。

委員長

チームとしては継続性を発揮できるということが最大のメリットだと思います。

今期は地区ニュースでみんなダイアモンドの参加者インタビューを行いました。その中で自分とは違うタイプの障がい者と関わられたのが楽しかったな

ど、かなりの良い意見が多い中で、何かで引き継いでいくということはないのでしょうか。

今井G

様々なタイプの障がい者と健常者との共生ということを狙っていたので、それが評価されたのはよかったです。従来は障がい者をメインで扱うものが少なかったと思う。それはずっとやりたかったことでした。

L 伊賀

私は、キャビネットがアクティビティの主体となるよりも、今井Gの提案を来期以降各クラブが継続していつてくれることが望ましいと思います。

今井G

このような意見が出るのが重要ですね。OSEAL事務所でも、ライオンズクラブが望んでいるのはこういうチームだと言っていたいただきました。

L 進藤

今期は、日本ライオンズでも複合でも活躍している今井ガバナーが情報共有してくれたことは、非常に大きなことでした。

L 伊賀

私はやはり公式訪問を全部参加させていただいたことは非常に大きいと感じています。ご意見を伺って急な対応は非常に難しいですから。

委員長

3人は仲が良かったと思いますが、実際はいかがでしたか。

今井G

1副と2副は選挙があったから仲が悪かったです。冗談ですが(笑)

委員長

チームとして感じたことやエピソードはありますか。

L 伊賀

チャーターナイトの日程は結構重なるので、そこを分担できるのは大きいと思います。

L 進藤

そうですね。秘密のミッションなどもあって、非常に面白かったです。内容は言えませんが(笑)

今井G

チャリティーコンサートの席割など煩

雑な作業は2人にやってもらい助かりました。

イベントの時の今井Gの役割分担は非常に上手でしたね。

紙芝居、アクティビティカードなども一緒に作らせていただきました。

そんなこともありましたね。アクティビティカードは他地区にまで広がってほしかったですね。

委員長) 他クラブのアクティビティは非常に参考になりますよね。

L進藤) 最初はアクティビティを見るところから始まりますよね。私は他クラブのアクティビティを見に行つては、写真を撮つて、自クラブに報告したりしてまいりました。

今井G) 本当のアクティビティカードの目的は他地区ではこんなことをやっているよとフィードバックをしてほしかったんです。

L伊賀) このような活動でライオンズクラブに対する思いが強い人が増えてきたらいいですね。

委員長) 伊賀さんはよく海外行かれますが、海外のクラブを見たりもするのでしょうか。

L伊賀) 実際になかなか訪ねる機会はないですが、行けば学ぶことは多いです。

今井G) いいところは持ち帰ればいいし、取捨選択できるんだからまず行けばいいですよ。

L伊賀) 国内でも旅行に行った先で地元クラブに立ち寄るといったことが文化になればいいですね。

今井G) 今後、My Lionを使えば海外でもそういうことができるようになりますよ。



L進藤) 伊賀期に短期ビジョン委員長になったら、他クラブを訪問するため

のワンポイントなどを伝えていければと思います。国際大会の1日2日目にMJF献金すると、LCIF理事長に直接バッジをつけて

もらえるセレモニーがあるなど皆さんにお知らせしたい面白いことがたくさんあるんです。

L伊賀) 来期は330-A地区の公式Facebook Bookページを作ります。

委員長) ガバナーチームのつぶやきも面白いですよ。

L伊賀) L進藤) それはいいですね。

委員長) 改めて次に何を引き継ぐかですね。

今井G) 伊賀さんはいろいろ取り入れてくれるし、それも進化した取り入れ方をしてくれたいと思いますよ。

L伊賀) 最初から一緒にやらせていただいて、思いがあるので引き継ぎやすいんですよ。

L進藤) 今井Gは、今期は俺の期だからやめるということが全くなく自由にやらせてもらえましたし。

今井G) 正直、年代による感覚の違いもありますが、それでも思いが共有されているメリットの方が大きいですね。

L伊賀) ガバナーも1副も2副も名譽職でなく一緒に活動していくという感覚が大事です。

今井G) 伊賀さんはスロージャーに「櫻(たすき)」を入れているでしょ(笑)

L進藤) 水戸黄門と助さん角さんという感じで上手くハマったと思う。

今井G) 今期は何でも聞いてという思いでやりました。

L伊賀) 特に難しい案件は事前

に共有していくことが大事ですね。

L伊賀) 特別に難しい案件は事前

に共有していくことが大事ですね。

L伊賀) 特別に難しい案件は事前

に共有していくことが大事ですね。



L進藤) 国際協会も

100年の節目で変わってきたから事前共有は本当に重要ですね。

委員長) 最後にライオンズクラブにとって最大の課題である「会員増強」について伺いたいのですが、今のやり方で増えるのでしょうか。

L伊賀) 抜本的に変える必要がありますね。特に正会員を増やすにはやり方を変える必要があります。会費の問題なのか、やりがいの問題なのかを明確にする必要もあります。

今井G) 私は根本的な問題はやはり会費の問題だと思っています。

L伊賀) 自分のクラブは年会費30万円でも満足している。それだけだと危機感が持てないですね。

今井G) 各クラブは何でも潰すより、まず取り組んでみれば良いという姿勢が大切です。そのうえで会費がそれなりであれば入ると思います。

L伊賀) ブランディングとマーケティングの問題もあります。どんな人に入ってほしいのか。対象によつて違いますね。

委員長) 330-Aにもすごいマーケティング情報が集まっていますが、活用されていませんよね。

L伊賀) 今までは、確かにやって終わりが多かったです。そのアクティビティを軸に参加者が増えていつているのかどうか検証する必要があります。

L進藤) 私は、いろんな人がいるなと

ころに行き来

できる

ようにすることが重要だと思

います。それと発信が重要で

す。今期は、会員増強はお陰様で全国

3位になりましたよ。

委員長) では、最後に一言総括をお願い致し

ます。

今井G) 来期の伊賀エレクトにどのように引き継がれるのか楽しみです。

L伊賀) 今期を引き継ぐのはもちろん、来期だけで終わるようなことはしないように相談しながらやっていくという観点を持ちたい。例えばアワードの決め方や地区役員の出し方などです。

L進藤) この一年はとても楽しくこのチームでよかったという思いです。是非、次のガバナーチームも楽しくやれたらいいと思います。



4/22 (月) 「都市直下型地震発生時に備えた研修会」

東京都赤十字血液センター 4F にて緊急災害対策委員会主催の「都市直下型地震発生時に備えた研修会」が開催された。

平成時代約 30 年を振り返ると、日本列島は多くの自然災害に見舞われた。今回 100 名に上る参加者は、災害への意識も高く、いつ起きてもおかしくない都市直下型地震への備えをテーマに、一般社団法人 いのちを守る at プロジェクト JAPAN 代表理事 高貝 正芳様から



「防災 3 ポイントレッスン」を受けた。後半は、阪神淡路、東日本大震災に実際起きた事象などの情報を織り交ぜながら小グループに分かれ「いのちを守る防災リスク・サーベイゲーム」を行った。震源・季節・避難場所によって衛生状態が大きく変化して感染症のリスクの増大や都市直下こそ、食料、燃料などで広域の被害を受ける怖さを学んだ。また、店舗やビルでの帰宅困難者受け入れについては、物件オーナーとして事前にガイドライン



作成の必要性を、また受け入れた場合には、男女の避難場所の区別など具体的なノウハウが話し合われた。命を守るために寝室には家具は置かず「大きな不要なものは、捨てる、あげる、売る」をみなで唱和した。東日本大震災から 8 年、普通に生活できるありがたさと、備えの大切さを再確認させてくれたセミナーだった。

マーケティング・コミュニケーション委員会
副委員長 L 赤尾 嘉晃

4/26 (金) 11RIZ 新入会員向けセミナー



11RIZC L 吉田亮一の声がけで、急激に会員を増強したスバル LC のための新入会員 向けセミナーが AP 西新宿にて開催され 30 名以上の出席者が集まった。第 2 副地区ガバナー L 進藤義夫を講師に迎え『楽しく継続して奉仕活動をするためには』というテーマで講演が行われた。ライオンズクラブの歴史や基礎知識に加え、100 周年を迎えたライオンズクラブにどのような変化が起こっているのか、特にクラブ活性化計画 (LCI フォワード) について非常に分かりやすく説明された。



そして、ライオンズを好きになるためのヒントや、全国の例会やアクティビティへ実際に参加した様子が披露されると参加者は驚き盛り上がった。質疑応答も活発



で講演は盛会のうちに幕を閉じた。
取材：マーケティング・コミュニケーション委員会

5/4 (土) ~ 5/5 (日) ハワリンバヤル 2019 モンゴル祭り



5月4日、5日 都立光が丘公園けやき広場において、ハワリンバヤル2019が開催された。今年で19回目を迎えるハワリンバヤルはモンゴル国費で留学している学生主催の日本で最大級のモンゴル祭りであり、この春の祭りは地元の方々や日本全国から集まったモンゴルの方達、約5万人の来場者で賑わう。ライオンズクラブは330複合地区にモンゴル支援の委員会ができて以来、継続して支援

アクティビティを行なってきた。今年もLCのブースでは330-A地区国際関係委員会が健康増進を目的とした、血圧測定や体脂肪測定を来場者に呼びかけ、1日で約200名の来場者が計測を行い自身の健康状態について再認識した。LCIフォワード 奉仕のフレームワーク糖尿病発症原因の一つである肥満度を知る体脂肪計に見入り、血圧測定では意外な結果に一喜一憂する様子が見受けられた。穏やかな春の陽射しの中、モンゴル文化と日本文化が共存するハワリンバヤル2019は今年も両国の友好を象徴する「春の祭り」であった。

マーケティング・コミュニケーション委員会
委員長 L吉岡晋



5/25 (土) ~ 5/26 (日) 第 20 回東京都障害者スポーツ大会



年次大会記念アクティビティ贈呈先、また特別協賛団体として 19 年間継続して支援してまいりました第 20 回東京都障害者スポーツ大会が 5 月 25 日 (土曜日)・26 日 (日曜日) の 2 日間駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場で開催されました。両日共に 30°C を超える真夏日の中、複合地区メンバーを含む 744 名のライオンズクラブ関係者の応援を頂きました。また、同日卓球・水泳・ボウリングの競技に各クラブ関係者の応援も頂き



ました。暑い中大変ありがとうございました。

社会福祉障がい者支援委員会

委員長 L 野々晴久

取材：

東京ウイングライオンズクラブ

社会福祉障がい者支援委員会副委員長 L 堺田明美

撮影：MC 委員会副委員長 L 桂 太郎



5/25 (土) ~ 5/26 (日) 第 20 回東京都障害者スポーツ大会水泳競技



5 月 25 日 (土) 26 日 (日) の両日、第 20 回東京都障害者スポーツ大会水泳競技が東京都障害者総合スポーツセンター プールにて開催された。

25 日は全国大会派遣選手選考 26 日はオープン競技で両日合わせ 22 種 175 組のレースが行われ、多くの選手が参加した。

各レース終了後には、成績優秀者にメダルが贈呈され、運営協力のライオンズメンバーによる万歳で選手の健闘を讃えた。途中、新宿

LC と新都心 LC より主催者である公益社団法人東京都障害者スポーツ協会にドネーションが贈呈された。

この大会は障害者がスポーツを通じて、自ら体力の維持増進及び社会への参加と相互の交流を促進させるとともに、都民の障害者に対する理解の増進を図り、もって障害者の自立促進とスポーツ振興に寄与することを目的としており、今期のガバナー方針の「共生」と相通じる。新緑の眩しい春の日、集まった多くの人々の思いやりが選手を奮起させ、取材者はその選手達から偉力を感じた。



6/3 (月) 4回キャビネット会議



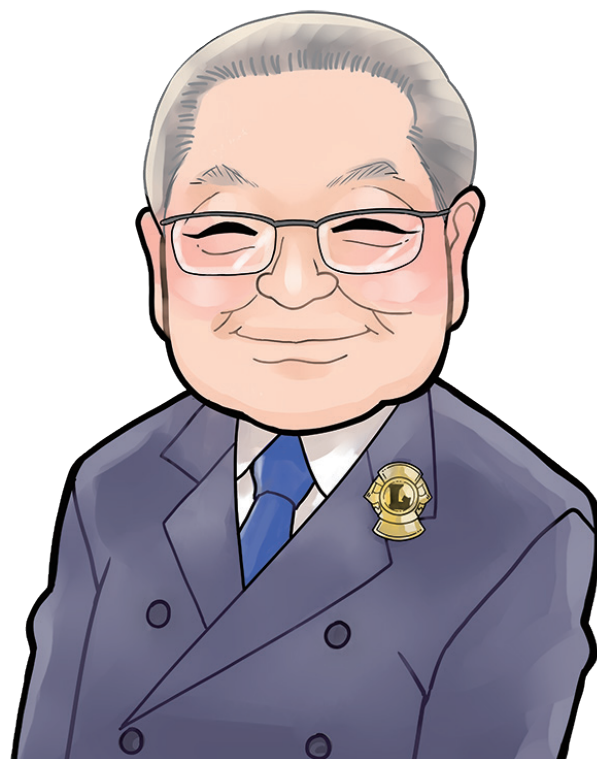
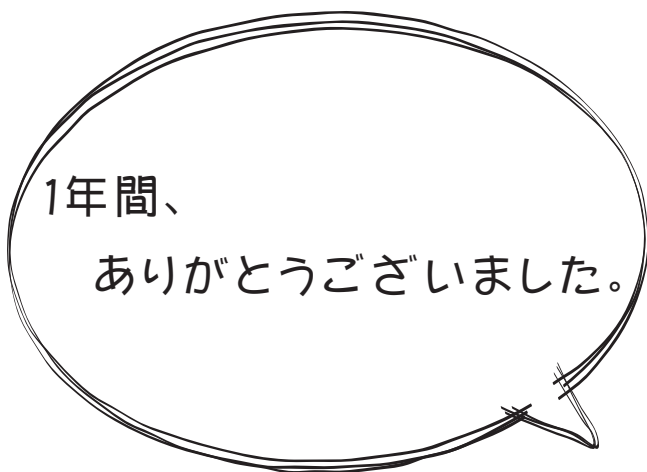
6月3日月曜日、330-A地区第4回キャビネット会議が、東京プリンスホテルに於いて開催された。今期最後となる会議の冒頭、今井ガバナーは挨拶のなか、会議参加者へ1年間の感謝の気持ちを述べられた。議事に於いて、ガバナー提出案件はキャビ



ネット構成員より承認された。休憩をはさみ、ライオンズの現勢、国際協会関連、全日本レベル、330複合全般、330-A全般についての報告があった。アワードの贈呈式ではMJF大口献金者が表彰され、今期幹事団には国際会長より、感謝



状が贈呈され、第4回キャビネット会議は滞りなく終了した。



LCIF3 年間を振り返って



LCIF(MJF)・緊急支援委員会委員長
L 伊賀 則夫

LCIF (ライオンズクラブ国際財団) という文字や言葉もご存じない会員さんも多くいらっしゃるのではないのでしょうか？

1917年、今から102年前に誕生したライオンズクラブは、100年を経て世界最大の奉仕団体となりました。

会員数が147万人と多い事がある理由ですが、それまでの労力奉仕一辺倒から脱却し、50年前にLCIFを創設して貧困・病気・災害等で困っている地球上の人たちを救うべく、「労力奉仕」と「金銭奉仕」の2つの活動に取り組んだのです。

日本の会員数は12万人ですので、世界147万人の1割弱ですが、LCIFの献金額は世界の4割を支えています。

私が委員長に就任した3年前に、名古屋で開催されたLCIF全日本会議で330-A地区からの献金額は、35地区の中で最下位の35番目だったのです。赤面の思いをしながらの帰京でした。原因はいくつもあると思いますが、330-A地区としての意識が低いことではないかと考えられます。どのクラブが、どの会員が、どのくらい献金しているのか関係ない、他の34地区ではどのくらいの献金をしているのかさえも、知ろうとする人がいなかったのではないのでしょうか。

しかし、意識が低いと思われる330-A地区の中でも、特出して献金を黙々と続けている人が何人かいらっしゃることを知りました。委員長という立場になったことで、330-A地区の献金一覧表を見れることになったのです。

あえてここでは名前は控えますが、新宿・銀座・成城・並木通・中野・江戸川南・葛飾・葛飾東・町田の各クラブに所属している会員さんからの献金名を見たのです。しかも毎年10口の大口献金者もいらっしゃるじゃありませんか。

献金一覧表はキャビネット会議でも配られていませんでしたので、誰もこの事実を知り得なかったのも驚きでした。

この方々は、誰かに認められたいとか、褒められたいからしているのではなく、純粋にライオンズクラブ国際財団を信じて、地球上の困っている人たちの支えになるならとの思いでやってこられたと、後で知ったのです。

この心が真の奉仕だとは思ふものの、私は、この一覧表を公表することにしました。年に4回開催されるキャビネット会議の委員長報告書に添付したのです。3年前からガバナーにお願いし、公式訪問のガバナーの挨拶の後に、LCIF委員長の話す時間を作って頂き、LCIF330-A地区の献金額の現状を訴えさせて頂きました。そのせいでしょうかは分かりませんが、3年前からの数字は以下の通りに(少し)改善されましたが、オリンピック特需もあって、東京地区だけが経済的に潤っていると言われている割には、未だ未だ誇れる数字にはなっていません。

ライオンズクラブは国際協会です。全日本も、330-A地区も国際会長方針に則って活動することが基本です。今期、来期、再来期の3年間にわたり、LCIFキャンペーン100(クラブ正会員×100ドル)の献金を全世界のクラブに達成して欲しいとの方針が発表されましたが、330-A地区での今期の達成クラブ数は6月10日現在で33のクラブしかありません。クラブ数は200ですので、率にすると15.5%です。ちなみに昨年までの20ドル献金は廃止になりましたが、9割を超えるクラブが協力してくれていました。

キャンペーン100(\$100献金)達成クラブ

※2人目以降の家族会員と支部会員は除く正会員が対象

1R2Z 東京ピース LC	5R1Z 東京亀有 LC	8R1Z 東京豊新 LC	11R1Z 東京新宿 LC
2R1Z 東京堀留 LC	5R1Z 東京葛飾東 LC	8R1Z 東京豊島西 LC	11R3Z 東京新宿東 LC
2R2Z 東京数寄屋橋 LC	5R2Z 東京江戸川南 LC	8R2Z 東京文京 LC	12R1Z 東京武蔵野 LC
2R2Z 東京並木通 LC	5R2Z 東京江戸川東 LC	8R2Z 東京巣鴨 LC	12R1Z 東京調布 LC
3R1Z 東京新橋 LC	6R2Z 東京鶯谷 LC	10R1Z 東京渋谷 LC	12R1Z 東京三鷹 LC
3R3Z 東京神宮 LC	6R2Z 東京上野南 LC	10R2Z 東京世田谷 LC	14R1Z 東京八王子いちようLC
3R3Z 東京ヒルズ LC	7R3Z 東京光が丘 LC	10R2Z 東京田園調布 LC	(6月10日現在)
4R2Z 東京江東南 LC	7R3Z 東京ウィル LC	10R2Z 東京玉川 LC	
5R1Z 東京葛飾 LC	8R1Z 東京サンシャイン LC	10R2Z 東京さぎそう LC	

MJF (1,000 ドル献金)

年度	口数	人数	35地区中
2016～2017年	324口	208人	4位
2017～2018年	312口	194人	8位
2018～2019年	304口	198人	8位

(6月10日現在)

■ 330-A 地区 5月31日現在での MJF の現況

- 累計金額: **33,637,837 円**
- 口数: 303 口
- 献金者数: 198 名



<http://330a.jp/lcif%E6%83%85%E5%A0%B1%E3%83%9A%E3%83%BC%E3%82%B8>

リードギフト誓約者



L 伊賀保夫
(東京ピース LC)



L 山浦晟暉
(東京新宿 LC)



メジャーギフト誓約者 リジョン・ゾーン順



L 山田春雄
(東京銀座 LC)



L 大石誠
(東京数寄屋橋 LC)



L 村木秀之
(東京数寄屋橋 LC)



L 阿久津隆文
(東京赤坂 LC)



L 今井文彦
(東京巣鴨 LC)



L 加藤邦弘
(東京横田 LC)

一年を振り返って



L 大類雅之

前年度に引き続き、2度目のマーケティング・コミュニケーション委員会（旧広報情報委員会）に参加させていただきました。何よりも所属メンバーが2年前とあまり変わっていない安心感を抱きながらスタートすることができたのが良かったです。今期は吉岡委員長のもと、ガバナー公式訪問の統括記事を作成したり、編集後記を書いたり、障がい者へのインタビューに参加したりと2年前と比較して濃い場面で携われたかなと思います。（役に立っているかどうかとは別です（笑））写真撮影などはど素人ですが、自分なりに良い写真を撮ろうとライオンズメンバーの笑顔を追いかけて、素敵な笑顔の写真が撮影できた時には自分なりに達成感も感じられました。情報発信という意味では大切な委員会だと思いますし、紙面のさらなる充実と発信力の強化がどんどん進めば良いと思います。1年間ありがとうございました。

今年、委員会名「マーケティング コミュニケーション」の文字の通りの活動ができた1年と感じている。

特に、11月24日開催の「みんなダイヤモンド」へ参加予定のハンディキャッパーの皆さんに10月上旬インタビューをおこなった。

アクティビティへの期待とポッチャ、スポーツ吹き矢などのパラ・スポーツ競技の楽しさ、奥深さの紹介をお願いし2号の特集として掲載した。

また、5号ではアクティビティに参加した10名の方へ良かった点、改善点を伺う、未来を見据えた座談会を開催した。そして、本号では運営側のライオンズメンバースタッフに企画から当日まで取材し、受け入れ体制、当日の対応を振り返り検証した。

アクティビティ参加者・運営者への取材、リサーチをすることで今後の展開など奉仕活動の明るい将来を垣間見ることができた1年だった。

結びに、快く取材に協力頂きました関係者に感謝を申し上げます。 <https://www.lions-news.com/archive.html>



L 赤尾嘉晃



L 桂太郎

キャビネット行事や各クラブのアクティビティの取材、或いは特集記事のためのインタビューを通じて、国際協会やキャビネットの取り組みから各クラブの感動的な地域との繋がりやエピソードまで、幅広く深く知ることができる当委員会に1年間携わらせて頂いたことは何にも代え難い宝です。特に取材を通して見てくるのは、地域奉仕に生き甲斐を出すメンバーの姿と、深刻な会員減少に対する危機感ですが、このコントラストは今や私たちのアイデンティティの一部となっていて、地区ニュースには欠かせないエッセンスとなっています。地域との繋がりとその延長線上にある世界との繋がりがまで感じられるライオンズクラブの魅力は計り知れないものがあります。娘の幼稚園の卒業アルバム作成に際し、個人写真の撮影を依頼され、その子たちらしい表情を撮ろうと子供たちと格闘する時間が持てたことも、取材の経験のおかげであり有難い出来事です。

吉岡委員長のクールなセンスとリーダーシップのもと、今期も徹力ながら地区ニュース作成に携わってまいりました。拙文を読んで下さった方々に感謝申し上げます。プライベートでは「節目の年齢」を迎え、さまざまな経年劣化を感じる今日この頃です。

最近細かい字が見えにくくなり、机の横には「ハ〇キルベ」が・・・自分とは無縁だと思っていたのに・・・

一方で、今流行りのEMS（Electrical Muscle Stimulation）を用いた筋トレを始めたところ、面白いように筋肉が付いて来ました。子供の頃から運動嫌いで体力もない自分が、就寝前に腹筋&腕立て伏せをやったり、プロテインを購入したりするようになるとは、予想だにしませんでした（笑）。

いつになってもまだ身体は変わる！変えられる！という意識でこれからも頑張ってみようと思います。

来期も地区ニュース編集をお手伝いさせていただき予定ですので、引き続きよろしくお願ひ申し上げます。



L 荒牧知子



L 矢追秀紀

今期は吉岡委員長の強い希望により、従来の紙面より一段と見やすく、充実した紙面となり、大変高い評価を受けることが出来たと感じています。

私、個人としてはイベントやアクティビティなどの取材にあまり参加できませんでしたが、委員会の皆さまのおかげで何とか最終号を迎えることができたこと、委員長はじめメンバーの皆さまに感謝申し上げます。

ライオンズのメンバーとして、もっと積極的に自クラブの活動をライオンズニュースに投稿して、メンバーの獲得やクラブの活性化のために利用して頂きたいと願ひながら活動してきましたが、なかなか思うようにならない1年でした。

また、WEBサイトの<https://www.lions-news.com>の方もそれなりに周知されましたが、まだまだヒット率が低いのが残念な結果でした。もっと気軽にLions Newsに投稿し、利用して頂けるような地道な努力が必要だと感じました。

吉岡委員長、一年間大変お疲れ様でした。また、委員の皆様、大変お疲れ様でした。この一年間MC委員会の取材活動を通し、今まで知らなかった他クラブで実施されている自クラブには無いアクティビティを見ることが出来たり、また、沢山の方々と知り合うことができました。

こんなことが出来るのもMC委員会ならではの醍醐味ではないかと思います。また、地区ニュースの制作に当たり、表紙、文章、写真、紙面校正など、様々な工夫のもと、地区ニュースが制作されていること、改めて勉強させて頂きました。

読者の皆様、地区ニュースはMC委員会メンバーが一丸となり、アイデアを出しあい、創意工夫の元、制作されています。また、MC委員会の沢山の思いが込められていますので、出来ましたら熟読いただくと幸いです。一年間有難う御座いました



L 根岸雅也



L 飯田容子

今期で、本委員会への所属は3期目でした。私のライオン歴の半分を共に過ごさせて頂いています。今期は100年誌や会員簿の発行があり、委員長をはじめ委員会の皆様の尽力に頭が下がる思いです。委員会での常にいいものを届けようという熱い現場、思いやりがあり誠実なメンバー、クリエイティブな委員会の一員である事を誇りに思います。スキルと情熱をもって奉仕に取り組むことの魅力を教えて頂き、クラブアクティビティでも、皆さんの姿勢をお手本にさせて頂いています。

そして、今期はゾーン・チェアパーソンを拝命し、多くの先輩方の人生観や奉仕への姿勢、人間性に触れ、かけがえのない出会いをさせて頂きました。偉大な方々と肩を並べて話が出来る素晴らしい機会を頂き、そこで奉仕をさせて頂けることに感謝しています。

写真は、東京都障害者ダンス大会ドレミファダンスコンサートにて、障害者の方々とライオンズクラブのメンバーと一緒に風船送りゲームをし、会場が一体となった瞬間です。

今期もマーケティング・コミュニケーション委員会のお手伝いをやらせて頂きライオンズクラブをより知る機会に恵まれました。

ライオンズクラブのアクティビティといえば献血、募金、薬物乱用防止教室、障害者を持っている方への支援等『生きる』ことに直結する支援活動が多い、今期行われた「みんなダイヤモンド！」では障害を持った方達と共にスポーツをするというとても画期的なアクティビティがあった。取材を通じてともに楽しみ共生することの大切さをとてつよく感じる事ができた。以前欧州の方から「ノーマライゼーション」という言葉を聞いた、意味は？と尋ねたら「あたりまえのこと」と教えてくれた、自分の周りに障害を持った人、病気の、ケガをしている人がいても何ら不思議なことではなく受け入れ、理解し共にこの世に生きることが普通であるという意味だそうです。このアクティビティ取材しながら思い出した、とても印象に残った一日でした。来年はどのようなアクティビティがありどんな勉強ができるのか楽しみです。

吉岡委員長、委員会の皆様今期も大変お世話になりました、ありがとうございました。



L 新井大介



L 後藤裕文

1年間お疲れ様でございました。

今期は担当副幹事として、委員会に出席させて頂きました。吉岡委員長はじめ委員会のメンバーの方々の素晴らしい発想で、元号が平成から令和へ変わり益々熱い気持ちで伝わる素晴らしい作品が出来上がっていったと思います。

今期もこの委員会に携わる事が出来て充実した1年間を過ごす事が出来ました。ありがとうございました。

1年間の編集後記

今期よりマーケティング・コミュニケーション委員会の名称で地区ニュースを1年間発行させて頂きました。奉仕団体のマーケティング定義に迷いもある中で、旧来型アウトバウンドマーケティング（押しつけ、追いかける）のPR活動だったと振り返ります。

今後はブログ型のHPやSNS、メールマガジン、動画を駆使したインバウンドマーケティング（見つけてもらう）への移行の必要性を強く感じます、来期以降MC委員会の改革を期待します。

最後になりますが、今期の委員会活動を支えて頂きました多くの方々に改めて感謝致します。特にMC委員会のメンバーの皆様には敬意を込めて感謝の気持ちを伝えたいと思います。

1年間皆様の支えで乗り切る事が出来ました、ありがとうございました。今後とも知恵と力を貸してください。委員長L吉岡 晋

クラブアクティビティや委員会セミナーの予告、報告は330-A 地区 HP 右上の投稿欄からお願い致します。

330-A NEWS デジタル版は過去の地区ニュース7年分が掲載されていて他クラブのアクティビティやキャビネット活動の変化を見ることが出来ます。

HPは「330A」で検索」



主要行事予定 (2019年)

7月 5日 (金)

～9日 (火) 第102回ミラノ国際大会 イタリア・ミラノ

(基調講演者：トニー・ブレア氏 英国元首相)

2018-19 マーケティング・コミュニケーション委員会 メンバー紹介

L 吉岡 晋	委員長	けやき LC	L 若槻哲也	委員	石泉 LC
L 大類雅之	副委員長	江戸川中央 LC	L 矢追秀紀	委員	ウエスト LC
L 赤尾嘉晃	副委員長	豊新 LC	L 大和祥郎	委員	国立 LC
L 津守勝男	副委員長	大森 LC	L 根岸雅也	委員	八王子いちろう LC
L 桂 太郎	副委員長	世田谷 LC	L 原 成兆	委員	瑞穂 LC
L 荒牧知子	委員	東京 LC	L 飯田容子	オブザーバー	表参道 LC
L 金代直人	委員	神宮 LC	L 新井大介	オブザーバー	新宿 LC
L 田下一雄	委員	隅田川 LC	L 後藤裕文	担当副幹事	法政 LC